

事務事業名	国指定史跡管理委託事業	事務事業No.	20501000897	所属課	文化財課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？ 文化財指定に伴い管理開始。 東日本大震災後、イノシシ被害が多発しているため、補修が必要となる箇所がある（真壁城跡外縁）。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？ 史跡見学者から、史跡の形状をわかりやすく安全に見学するために、除草要望がある。 イノシシ被害対策の柵設置やハーブ類植栽の獣害防除について、徳島県、石川県等の市町村から問合せがある。					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 史跡の安全管理と活用につながる
	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 史跡真壁城跡地内は市の所有地である。 史跡真壁城跡の一部は共有地で、真壁城跡の一部は市有地だが、ともに史跡地内と一体的な場所で、保存整備事業地として保全する必要がある。
	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 真壁城跡はイノシシ害が多発。ハーブ類植栽・防柵設置による獣害防除を進めることで、管理効果が向上する。ハーブは雑草と置き換わり、敷地の魅力向上、いのしし防除向上余地あり。これにより管理費削減、史跡の魅力を向上させる。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 景観保全、安全管理が出来なくなり、公開活用も困難になる。
	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 903指定文化財等維持管理・調査事業 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる 903指定文化財等維持管理・調査事業と統合し、直営で弾力的な実施を行う。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ハーブ類を有効に増やして雑草と置き換えることにより、獣害防除費及び除草管理費を削減する。 ハーブ類は薬草知識や香りを楽しむ体験講座、染物講座等、多様な活用のできるハーブ園として、新たな魅力向上に資する。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 史跡は市の所有地である。他の管理地も文化財保護の観点から公平公正である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	委託事業で最低限の除草を行ったが、真壁城跡の発掘調査が整備工事準備のため令和6年度をもって一時休止するため、その他の史跡や除草の必要な管理施設を含めて直営で行う方が効率的であると考えられるため、直営化を目指す。																							
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 委託ではなく直営とし、指定文化財維持管理・調査事業に事務統合する。 一定数の会計年度職員の雇用を行うとともに、初期投資として草刈機等の必要備品を整える必要があるため、予算化する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上	○																						
	維持			×																				
	低下		×	×																				
		(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ②																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>